

# omniReader®

## ディスプレイ 一体型 拡大・OCR活字文書読み上げ端末

## 取扱説明書

Freedom Scientific (Visperoグループ)

日本語訳 有限会社エクストラ

この文書の情報は、予告なく変更する可能性があります。この文書のいかなる部分も、 Freedom Scientificおよび有限会社エクストラの許諾を得ることなく、電子的、機械的な どのいかなる方法およびいかなる目的によっても複製または送信することを禁じます。 オムニリーダー®は、米国および他の国々におけるFreedom Scientific(Visperoグルー プ)の登録商標です。

Freedom Scientific, Inc. www.FreedomScientific.com

© 2019 Freedom Scientific, Inc. All Rights Reserved. omniReader<sup>®</sup> is a trademark of Freedom Scientific, Inc. in the United States and other countries. Information in this document is subject to change without notice. No part of this publication may be reproduced or transmitted in any form or by any means electronic or mechanical, for any purpose, without the express written permission of Freedom Scientific.

To register your product, visit http :

//www.freedomscientific.com/forms/ProductRegistration.

## 目次

1. はじめに	5
内容物の確認	5
主な特徴	6
2. 読み取り	7
1枚の文書を読み取る手順	7
3. スタートガイド	8
バッテリーの充電について	8
オムニリーダーの電源オン・オフ	9
電源オン	9
電源オフ	9
バッテリーステータス	10
スリープモード	12
スリープモードからの起動	12
手動でのスリープモード開始	12
待機時間の変更	12
オムニリーダーと文書の配置	13
コントロールパネルヘルプ	14
4. コントロールパネル LEDライト	15
コントロールパネルの機能	15
リングLED	19
電源 LED	19
Wi-Fi LED	
LEDライトのオン・オフ	21
5.1ページのみの文書の読み取り、読み上げ、保存	22
1ページのみの文書の読み取り、読み上げ	22
読み取り後に1ページのみの文書の保存	23

6.本の読み取り(複数ページの文書)	25
本の読み取り	
本ファイルの作成の手順	
複数ページ文書の読み取り読み上げ	
7. ファイル	28
保存した文書、または、本を開く	
文書、または、本の名前の変更	
ファイルの削除	30
8. メニューや文書閲覧時の操作	31
メニュー	
メニュー操作	
十字ボタンを使用した文書読み上げ時の操作	
前と次への移動操作	32
9. ロービジョンモードとブラインドモード	33
10. カレンダー	
カレンダーを開く	
カレンダーにリマインダーを登録する	
リマインダーの編集と削除	35
11. フォトアルバム	36
フォトアルバムを作成する	
写真をアルバムに追加する	37
写真を見る	37
音声メモの録音	
写真を削除	
アルバムを削除する	39
アルバムの名前(音声)を変更する	39

アラームの設定	40
アラームの解除	41
時刻と日付の設定	
13. 設定	43
一般設定	43
読み上げ速度	
読み上げモード	
メニュー音声	
読み上げ音声	
左ダイヤル機能設定 ※ロービジョンモードのみ	45
中央ボタン機能設定	
フォント	
フォントサイズの変更	46
コントラスト	
カラーモード	
略字点字	
点字のワードラップ	
UEB 有効化	
スタンバイまでの時間	49
明るさ	50
ステータス	50
システム設定	51
ユーザープロファイル	
ソフトウェアのアップグレード	
スリープ	
シャットダウン	51
14. オーディオブック	
オーディオブックを使う前の進備	<b>د</b> ی
MP3オーティオフックの冉生	52
15. 文字入力	54
文字リスト	54

リストの操作と文字の選択	54
<b>16. 点字ディスプレイとの接続</b> 点字設定の変更	<b>55</b> 55
17. 本体左側面の接続ポート等について	57
18.トラブルシューティング	59
19. サービスとサポート	61
安全上のご注意	

#### 1.はじめに

オムニリーダーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。オムニリー ダーは、視覚に障害のある方向けに開発された、OCR読み上げ機能と拡大表 示機能を備えた拡大・OCR活字文書読み上げ端末です。

オムニリーダーは、活字印刷された文字・文書をOCR機能によって読み取り、 合成音声で文を読み上げます。手紙、本、食品ラベル、薬ラベルなど、活字印 刷された様々なものにご利用いただけます。文書のOCR読み取りが完了す ると、本機は読み取り内容を内蔵の10インチ液晶モニタに表示し読み上げま す。読み取った内容は、本体または接続したUSBメモリに保存可能です。ま た、読み取りたい対象を液晶モニタに表示した状態で画面に映った対象を拡 大表示することができます。

## 内容物の確認

オムニリーダーをご使用になる前に、付属品をご確認ください。万が一、付属 品に不足がございましたらご購入いただいた販売店または有限会社エクスト ラまでご連絡ください。

内容物

- 1. オムニリーダー本体
- 2. 専用アダプタ
- 3. アダプタ用電源ケーブル
- 4. 取扱説明書
- 5. 保証書
- 6. ユーザ登録カード

#### 主な特徴

- 10インチ液晶モニタ搭載
- ロービジョンモード、ブラインドモードを搭載し使用者が使いやすいモード に切り替えて使用が可能
- 読み取ったテキストを拡大表示し、音声読み上げ可能(内臓スピーカーまたは、ヘッドフォン使用可能)
- 暗所での画像撮影も本体のライトのみで可能
- スピーカー、マイク、充電池内蔵。持ち運びに便利なハンドルも本体に収納 可能。
- 大きくわかりやすい読み取りボタンを本体上部、コントロールパネル中央 に配置
- A4サイズの用紙まで読み取り可能
- フォトアルバム機能、アラーム時計機能を搭載
- オーディオブック機能を使用してMP3データを再生可能

2. 読み取り

## 1枚の文書を読み取る手順

- 1. オムニリーダーの電源が入っていることを確認してください 。(8ページ参 照)
- 2. 本体を平面に置き、ディスプレイのある前面がご自身に向くように置きま す。
- 3. 読み取りする文書を本体前面に置き、文書の幅が本体の幅に収まるよう に置きます。文書の上端が、オムニリーダーの底面とぶつかるようにして 下さい。(下記図①参照)
- 4. 本体上面中央の読み取りボタンを押します。(下記図2参照)
- 5. シャッター音が鳴り、画像の読み取りを開始します。
- 読み取り完了後テキストがディスプレイに表示され、オムニリーダーがその 内容を読み上げます。読み上げを中断するには、再生ボタン♪♪♪♪ を押して ください。用紙1枚の読み取りについて詳細は、22ページを参照してくだ さい。



複数ページを読み取りする場合は、読み取り前に「本」データを作成する必要 があります。詳細については25ページを参照してください。

## 3. スタートガイド

## バッテリーの充電について

本機のバッテリーを充電するには、付属のAC アダプタと電源コードを使用してください。バッテリーの充電には、3時間程度かかります。満充電の状態で約12時間の使用が可能です。バッテリーの状態と電源についての詳細は9ページをご覧ください。

充電中でもオムニリーダーは使用可能です。

注意:本機のバッテリーは取り外しできません。取り外そうとしたり、取り外した場合には、保証の対象外となります。



- 1. 電源コードプラグを①の長方形のACアダプタに接続します。
- 2. ACアダプタのコードを②の電源ジャックに接続します。
- 3. 電源コードを③のようにコンセントにつなぎます。

バッテリー充電時には、本体前面の電源ステータスLEDが緑色にゆっくりと 点滅します。満充電された場合には、緑色に点灯します。バッテリー状態の詳 細については10ページをご参照ください。

## オムニリーダーの電源オン・オフ

オムニリーダーの前面に対して、本体左側面、電源ジャックの上にあるボタンが





#### 電源オン

- 1. 電源ボタン 🕐 を3~5秒程長押しします。
- 2. 本体の電源が入ると、起動画面が表示され、起動音が鳴り、読み取りボタ ン(コントロールパネル中央)周りのリングLEDが点滅します。
- 3. 起動が完了すると、メインメニュー表示し、「ファイル」と読み上げ、リング LEDが青色に点灯します。

#### 電源オフ

バッテリーステータス

バッテリーステータスを確認するには、以下の3つの方法があります。

1. パワーステータスLEDを確認する

パワーステータス LED は本体前面のコントラストボタン ⑦の右側に位置し、バッテリーの状態をLEDの色で判別できるようになっています。



- 緑 点灯:バッテリーフル充電
- 緑 点滅:バッテリー充電中
- 赤 点滅:バッテリー残量-低い
- 赤 点灯:バッテリーエラー

※赤点灯になった場合、ACアダプタの接続を解除し、再度接続してください。 それでも変わらない場合は、ACアダプタの使用を中止し、販売店までお問い 合わせください。

● 未点灯: 電源アダプタ未接続時、スリープモード時、または電源オフ時

2. 十字ボタンの中央ボタンを使ったバッテリー状態確認



文書ビューの表示中に十字ボタンの中央ボタンを 押すとバッテリーの状態を確認できます。十字ボ タンは、本体上面の左側に配置されています。

3. ステータスメニューを使用して確認する

ステータスメニューでは、バッテリー残量、アプリケーションバージョンを確認 できます。

バッテリー残量の確認方法

- メインメニューから、右ダイヤルを使用して「設定」に移動し、再生ボタ
   ン ▶
   ▶
   ▶
   ▶
   ▶
   ▶
   ▶
   ▶
   ▶
   ▶
   ▶
   ■
   ▶
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
- 2) ステータスまで移動し、再生ボタン とこを押します。
- 3) 現在のバッテリー残量を読み上げます。「100%」と読み上げる場合、バッテリーは満充電されています。バッテリー残量が15%以下になりましたら、充電されることをお勧めします。充電中でもオムニリーダーは使用可能です。

#### スリープモード

オムニリーダーのバッテリー使用中に一定時間操作を行っていないと、節電 のためにスリープモードに入ります。初期設定では 無操作状態が30分間続く と、スリープモードに入る設定になっています。スリープモードに入る前には、 通知音が鳴ります。スリープモード中は、全てのLEDがオフになります。

以下、オムニリーダーのスリープモードからの再起動方法、手動でのスリープ モード開始方法、スリープモードが開始するまでの時間の変更方法について 説明します。

#### スリープモードからの起動

スリープモードからオムニリーダーを起動するには、**電源ボタン**のを押して ください。起動音が鳴り、オムニリーダーが起動します。スリープモードに入る 直前のメニュー、または、文書が開いた状態で起動します。

#### 手動でのスリープモード開始

手動でスリープモードを開始するには、電源ボタン とを押してください。この操作は、バッテリー駆動中でも、ACアダプタ接続中でもスリープモードに入ります。

#### 待機時間の変更

スリープモードに入るまでの待機時間を変更する手順は以下の通りです。

- メインメニューから右ダイヤルを使用し、設定に移動します。再生ボタン
   ▶ €2回押し、一般設定を開きます。
- 2. 「スタンバイまでの時間」に移動し、再生ボタンと加を押します。
- 3. 設定可能な時間のリストが表示されるので、右ダイヤルを使用して時間を 選択し、再生ボタン とこ。 を押して設定します。初期設定では30分に設定 されています。

## オムニリーダーと文書の配置

文書をオムニリーダーに読み取らせる場合、本体を充分なスペースのある平 らな場所に置き、モニタのある本体正面を自分側に向け、上面のコントロール パネルが天井に向くようにします。読み取り完了後に、読み上げる内容を聴く 場合や、読み取った内容を読む場合には、本体を移動させても問題ありませ ん。

オムニリーダーは、A4サイズまでの文書の読み取り・読み上げに対応しています。文書は、次の図のように配置してください。



A4サイズの文書を読み取らせる場合



A4サイズより小さい文書を読み取らせ る場合

- 本体前面の底面を、文書を配置する際のガイドとしてご利用ください。
- 文書を本体の幅に収まるように前面に置きます。用紙の上端が、本体の底面に当たるように置いて下さい。この状態でも、テキストの読み取りに支障は出ません。
- A4サイズ以下の文書の読み取りを行う場合は、白紙のA4用紙を配置し、 その上に読み取る文書を配置してください。白紙のA4用紙を置くことで、 机の模様など、読み取りに支障をきたし得る情報を隠すことができます。 読み取る文書の上端を本体の底面に当て、白紙用紙の幅の中心に来るように置くと読み取りやすくなります。
- 文書の読み取り結果は、本来のテキスト通りに変換・表示されない場合があります。このような場合、モードボタン を押すとカメラビューに切り替わるので、元の文書を画面に映し、気になる個所を確認できます。
   再度モードボタンを押すと文書ビューに戻ります。

※モードボタン CCC は、本体上面のコントロールパネル右側に配置されている、ボリュームダイヤル前の曲がった形のボタンです。

## コントロールパネルヘルプ

コントロールパネルは、本体上面に配置されている操作ボタン、ダイヤルの総称です。コントロールパネルヘルプ機能を実行中に、各種ボタン、ダイヤルを操作すると、そのボタンの機能の説明を読み上げます。

コントロールパネルヘルプを開く手順は以下の通りです。

- メインメニューから、右ダイヤルを使用し、ヘルプに移動し、再生ボタン
   ▶Ⅲを押します。
- 各種ボタン、ダイヤルを操作すると、そのボタンやダイヤルの機能説明を読み上げます。

ヘルプを終了するにはコントラストボタン 20押してください。

## 4. コントロールパネル LEDライト

## コントロールパネルの機能

オムニリーダーのコントロールパネルは、本体上面に配置されています。各種 ボタンの機能は、ユーザープロファイルの設定や使用する操作によって変わる ものがあります。

例として**再生ボタン** 選択、文書の再生と一時停止する機能があります。



1	読み取りボタン	読み取りボタンは、コントロールパネル中央 の丸い大きなボタンです。
		押すと文書の読み取りを行い、読み上げを開 始します。
2	コントラストボタン	コントラストボタンは、本体正面の左上端、 左ダイヤルの右側に配置されています。ボタ ンの左側には、触れて確認できる点が付い ています。
		メニュー操作の際に押すと、1つ前のメニュー (または、画面)に戻ります。
		ロービジョンモード時:文書、または、本の読 み上げ中に押すと、カラーモードが切り替わ ります。
		ブラインドモード時:文書、または、本の読み 上げ中に押すと、読み上げ音声が切り替わり ます。
3	再生ボタン	再生ボタンは、本体正面の右上端、右ダイヤ ルの左側に配置されています。ボタンの右 側には、触れて確認できる点が付いていま す。
		メニュー操作の際に押すと、次のメニューに 進み項目の選択ができます。
		文書の読み上げの際は、押すと再生または 一時停止できます。

4	右ダイヤル	右ダイヤルは、本体右側面上部の大きなダイ ヤルです。
		回すとメニューや、文書内の項目を上下にス クロールできます。
5	左ダイヤル	左ダイヤルは、本体左側面上部の大きなダイ ヤルです。
		ロービジョンモード時: 文書の読み上げ中、ま たは、カメラビュー中に回すと、画面上の拡大 率を変更できます。
		ブラインドモード時: 文書の 読み上げ中に回 すと、読み上げ速度を変更できます。
		※ ロービジョンモードの <b>左ダイヤル</b> 機能は、 拡大率変更機能が初期設定になっています が、ブラインドモードのように読み上げ速度の 変更機能に変更することも可能です。設定の 変更方法については、45ページを参照してく ださい。
6	ボリュームダイヤル/ メニューボタン	このダイヤル/ボタンは、本体上面の右上、読 み取りボタンの右側、曲がったモードボタン の奥に配置されています。
		<b>ボリュームダイヤル</b> :回すとボリュームの大き さを変更できます。
		<b>メニューボタン</b> :押すとメインメニューが開き ます。

Ī	モードボタン	モードボタンは、本体上面の右側、ボリュー ムダイヤル/メニューボタンの前に配置され ています。
		現在のメニュー画面、または文書からカメラ ビューモードに切り替え、再度押すと元の画 面に戻ります。
8	十字ボタンと中央ボ タン	十字ボタンは本体上面の左側に配置されて います。5つのボタンから構成され、上、下、 左、右に加え、その中央に丸い中央ボタンが あります。
	$\left( \bigcirc \right)$	文書ビューの操作中に <b>中央ボタン</b> 押すと、バ ッテリー情報を読み上げます。
		カメラビュー時に <b>中央ボタン</b> を押すと、LED ライトのオン・オフを切り替えます。
		<b>十字ボタン</b> 上、下、左、右を押すと:
		● 文書や本の文章内を移動します。
		上下ボタン:ページ移動
		左右ボタン:単語移動
		● 文字入力時の文字選択に使用します。
		参考:初期設定では、文書ビュー中に中央ボ タンを押すとバッテリー情報を読み上げる 設定になっていますが、文書読み上げを一 時停止・再開する設定に変更することも可能 です。この場合、再生ボタンと同じ機能にな ります。中央ボタンの設定変更について詳細 は46ページをご参照ください。

リングLED

読み取りボタンを囲っているのがシステムステータスを示すリングLEDです。



電源のオン・オフ、読み取りの可否、文書の読み取り中を示すLEDです。LED の光り方は、点灯、点滅、回転の三種類があり、LEDの色と光り方の組み合わ せで本体の状態が分かります。

- 緑 点滅:本体起動中、または、スリープモードから起動中
- 青 点灯:ページ、または、本の読み取り可能な状態
- 青 回転: 文書の処理中
- 赤 回転:本体の電源を切っている状態

#### 電源 LED

電源LEDは、本体のオン、オフ、またはスリープモード状態かどうかを示しま す。読み取りボタン左下、コントラストボタン

たため本体の角に配置されています。



電源LEDは、点灯または点滅します。

- 緑 点灯: バッテリー満充電
- 緑 点滅: バッテリー充電中
- 赤 点滅: バッテリー残量低
- 赤 点灯: バッテリー不具合

※赤点灯になった場合、ACアダプタの接続を解除し、再度接続してください。 それでも変わらない場合は、ACアダプタの使用を中止し、販売店までお問い 合わせください。

● 未点灯: 電源アダプタ未接続時、本体スリープモード時、または本体電源 オフ時

#### Wi-Fi LED

Wi-Fi LEDはWi-Fiの接続状況を示します。日本語版ではWi-Fi機能非対応のため使用しません。



## LEDライトのオン・オフ

初期設定ではカメラビューに切り替えた際に、LEDライトが点灯するように設 定されています。LEDライトをオフにすることで、光沢のある用紙など、光の 反射をしやすい文書を読み取りしやすくなります。



カメラビュー時に**十字ボタン**の**中央ボタン** を押すと、LEDライトのオン・オフが切り替 わります。

## 5.1ページのみの文書の読み取り、読み上げ、保存

1ページのみの文書の読み取り、読み上げ

1ページのみの文書を読み取る手順

- 読み取りする文書を本体前面に置き、文書の幅が本体の幅に収まるように 置きます。文書の上端が、オムニリーダーの底面とぶつかるようにして下さ い。本体と文書の配置については、13ページをご参照ください。
- 2. 本体上面、コントロールパネル中央の大きな読み取りボタン を押 すと文書が画面に表示され(カメラビュー)、画像撮影します。
- 3. 文書の読み取りが完了すると、読み取り結果が画面に表示されます。読み 取り結果が表示される画面を文書ビューと呼びます。初期設定では、オム ニリーダーが自動的に読み取り結果を読み上げる設定になっています。

文書読み上げ中の操作

- **再生ボタン ▶**:読み上げを一時停止します。もう一度押すと読み上げ を再開します。
- コントラストボタン 2:

【ロービジョンモード時】

画面の色モードを切り替えます。見やすい色に切り替えてご利用ください。

【ブラインドモード時】

音声を切り替えます。聞き取りやすい音声に切り替えてご利用ください。

- メニューボタン
   :文書を保存するか、閉じて破棄します。完了するとメインメニューへ戻ります。
- モードボタン ご :文書ビューモードとカメラビューモードを切り替えます。
- 読み取りボタン ── :文書を破棄し、新しく読み取りを開始します。

#### 読み取り後に1ページのみの文書の保存

読み取り後に1ページのみの文書を保存する手順は以下の通りです。

- 1. **メニューボタン** でを押すと、「この文書を保存する」、「この文書を閉じる」のオプションが 画面に表示されます。
- 2. 「この文書を保存する」がハイライトされた状態で、再生ボタン **ト**11を押します。
- 3. 「ボイスタグ付きで保存」、「ボイスタグなしで保存」のオプションが表示されるので、いずれかを右ダイヤルで選択し、再生ボタン ト を押します。

参考:ボイスタグは、保存した文書、または、本を識別するための音声メモで す。文書のリスト内で、ボイスタグを付けて保存した文書を選択すると、ファイ ル名ではなくボイスタグが再生されます。

- 4. 「ボイスタグ付きで保存」を選択すると、ファイルに紐づけするボイスタグの録音を開始します。
- 5. 録音する準備が完了したら、再生ボタン 2010 を押し、本体正面の読み取 りボタンの手前に位置するマイクに向かって喋ります。



6. もう一度**再生ボタン** と を押すと、録音を終了し、録音したメッセージを再生します。

- 7. 録音した内容で問題なければ、再生ボタン とこを押し、ボイスタグとファ イルを保存します。
- 8. ボイスタグを録音し直したい場合は、コントラストボタン 📀 を押し、前述の録音を再度行ってください。
- 9. ボイスタグなしで保存する場合は、初期設定名で 文書\_1 のように保存 されます。

参考:USBメモリが本体に接続されている場合、ファイルはUSBメモリのルートに保存されます。USBメモリが接続されていない場合は、本体に保存されます。

- 10.文書の保存が完了すると、再び文書ビューが表示され、オムニリーダーが 自動的にテキストを読み上げます。
- 11.文書を閉じるには、メニューボタン かを押すと、「この文書を閉じる」と表 示されるので、再生ボタン とこ。 を押すと文書を閉じます。文書を閉じ た後は、保存されたファイルのファイルリストが表示されます。

参考:ファイルでは、新規の本を保存 が常に一番上に表示されます。保存さ れた本 や文書は、このオプションの下に表示されます。

## 6.本の読み取り(複数ページの文書)

#### 本の読み取り

2ページ以上の文書の読み取りを行う場合、オムニリーダーは、その文書を本 として保存します。本の読み取り時には、まず、ボイスタグを使用し、本ファイ ルを作成する必要があります。

初期設定では、本のファイル名は自動的にBook\_1のように名付けられますが、ファイルメニューから選択した際に、ファイル名ではなくボイスタグを再生する仕様になっています。

## 本ファイルの作成の手順

- メインメニューから、右ダイヤルを使用してファイルへ移動し、再生ボタン
   ▶Ⅲを押します。
- 新規の本を保存」を選択し、再生ボタン ▶Ⅲを押します。「再生ボタンを 押して録音」と表示され、ファイルに紐づけするボイスタグを録音するよう に促されます。



4. **再生ボタン**とこを再度押すと録音が停止し、録音したメッセージが再生 されます。

- 5. 録音内容に問題がなければ、再生ボタン 
  5. 録音内容に問題がなければ、再生ボタン 
  7. あファイルを保存します。
- ボイスタグを録音し直したい場合は、コントラストボタン 
   の録音を再度行ってください。

参考:USBメモリが本体に接続されている場合、ファイルはUSBメモリのル ートに保存されます。USBメモリが接続されていない場合は、本体に保存さ れます。

7. ボイスタグの保存が完了すると、「読み取りボタンを押してページを追加し てください」とアナウンスが流れます。

ここまでが読み取りを開始するまでの操作になります。読み取り方法については次の章で説明します。

## 複数ページ文書の読み取り読み上げ

- 1. 複数ページ文書の1ページ目を本体の前面に配置します。
- 丸く大きな読み取りボタン を押してページを撮影します。撮影 が完了すると、「このページが保存されました。読み取りボタンを押すとペ ージを追加できます。終了する場合は、再生ボタンを押してください」と表 示します。
- ページを追加する場合は、2ページ目を本体前面に配置し、読み取りボタンのです。3ページ以上追加する場合は、2-3の操作を繰り返してください。
- 4. 全てのページを読み取り完了後に、再生ボタン ▶ ↓ を押すと、読み取り を終了し、本を保存してメインメニューに戻ります。

保存した本を読む手順は以下の通りです。

2. 読みたい本ファイルを選択し再生ボタンとIIIを押します。

参考:初期設定では、ファイル名はBook\_1のように保存され、画面のリスト に表示されるファイル名もこの通りになります。ファイルを指定するには、リ スト移動中に再生されるボイスタグ機能を活用してください。

3. 選択したファイルを開くには**再生ボタン ▶Ⅲ**を押してください。

本を開くと、オムニリーダーは本のページ数を読み上げ、1ページ目の読み取り処理を開始し、1ページ目の最初から読み上げを開始します。ページの終わりまで読むと、読み上げを停止します。

**下ボタン**を押すと、次のページに進みます。オムニリーダーは、読み取り処理 を開始し、テキストの読み上げを開始します。本を読み進めるには、**下ボタン** のページ移動操作を繰り返してください。**上ボタン**を押すと、前のページに戻 ります。

本を読むのをやめ、閉じる場合の手順は以下の通りです。

- 1. メニューボタン 押し、ファイルメニューに戻ります。
- 2.「本を閉じる」まで移動し、再生ボタン▶Ⅲを押します。ファイルメニュ ーに戻り、メニューボタン□□を押してメインメニューに戻ります。

#### 7.ファイル

#### 保存した文書、または、本を開く

文書と本は、オムニリーダー本体、または、USBメモリに保存することができます。USBメモリにデータが保存されている場合は、本体のいずれかのUSB ポートにUSBフラシュメモリが接続されていることを確認してください。

保存したファイルを開く手順は以下の通りです。

メインメニューから、右ダイヤルを使用してファイルに移動し、再生ボタン
 ▶Ⅲを押してください。

保存されている文書と本のリストが表示されます。リストの一番上には新規の 本を保存が表示され、ファイルは、新しいファイルから古いファイルの順に並 んでいます。USBメモリ接続時には、USBメモリに保存されているファイルの み表示します。

- 2. 開きたい文書または本に移動し、再生ボタン **▶** を押してください。
- 3. ファイルに対して行いたい操作のリストが開きます。開くがリストの一番上 にあるので、**再生ボタン**▶Ⅲを押し、ファイルを開いてください。
- 1ページのみの文書を開いた場合、テキストが画面に表示され、オムニリー ダーは読み上げを開始します。

本を開いた場合は、まず本のページ数を読み上げ、1ページ目の読み取りを開始し、読み上げを開始します。ページの終わりまで読み上げると読み上げを終 了します。

5. 文書を閉じるには、メニューボタン 2000を押すと、「この文書を閉じる」と 表示されるので、再生ボタン 2000を押して閉じます。閉じると、ファイル メニューへ戻ります。

この時、メニューボタン を押した後に、コントラストボタン を押すと、文書に戻ります。

## 文書、または、本の名前の変更

初期設定では、文書と本を保存した際に、文書\_1 または Book\_1と名前が付けられます。追加で文書と本を保存していくと、最後の数字が増える形で、名前が付けられます。この名前はファイルのリストで表示されます。

文書を保存する際には、ファイルにボイスタグを追加するオプションがありま す。(本ファイルを作成する際には、ボイスタグの追加が必須です。)ボイスタグ が追加されている場合、ファイルのリストからファイルを選択する際に、ファイ ル名を読み上げる代わりにボイスタグが再生されます。

名前の変更・ボイスタグを録音し直す手順は以下の通りです。

- 1. メインメニューから、右ダイヤルを使用して「ファイル」に移動し、再生ボタ ンを押します。すると保存されている文書と本のリストが表示されます。
- 2. 名前を変更したい文書、または、ボイスタグを録音し直したい本に移動し、
   再生ボタン<sup>▶</sup> を押してください。
- 3. 「名前の変更」に移動し、再生ボタン と を押してください。
- 4. 1ページのみの文書の場合は、54ページの文字の入力方法に従って新しい 名前を入力し、(半角英数字のみ入力可能)十字ボタンの右を押してください。本の場合は、新しいボイスタグの録音を行ってください。
- 5. 完了すると、文書は新しいファイル名で表示され、本の場合は、ファイル名 は変わらず、新しいボイスタグが再生されます。

ファイルの削除

保存した文書、または、本を削除する手順は以下の通りです。

- メインメニューから、右ダイヤルを使用して「ファイル」に移動し、再生ボ タン<sup>▶</sup> を押してください。
- 2. 削除したい文書、または、本に移動し、**再生ボタン**と肌を押してください。
- 3. 削除に移動し、再生ボタンとIIIを押してください。
- 4.「本当にこの文書を削除しますか?」と表示されます。ファイルを削除す る場合は、再生ボタン 川押してください。ファイルの削除をキャンセ ルする場合は、コントラストボタン を押してください。

## 8.メニューや文書閲覧時の操作

#### メニュー

オムニリーダーが起動すると、画面にメインメニューが表示されます。このメニ ューから機能を選んでの実行や、「設定」を使った設定の変更、システム情報の 表示、システム設定の変更を行うことができます。

#### メニュー操作

- メニュー画面では右ダイヤルを使用してメニューリストを上下に移動します。カーソルがあたっているメニュー項目は、画面上で強調表示されます。項目の名前も音声で読み上げます。
- 前のメニュー項目に戻るには、コントラストボタン ② を押します。これは、コントロールパネルの左前の左ダイヤルの近くにあります。
- ドキュメントを読んだり表示したり、カメラビューを使用して拡大表示中には、メニューボタンのを押してメインメニューに戻ることができます。

## 十字ボタンを使用した文書読み上げ時の操作



コントロールパネルの左上には、5つのボ タンが円形に配置されています。これら は**十字ボタン**で、スキャンした文書や図書 を単語、段落、行、またはページごとに移 動できます。

## 前と次への移動操作

- 左(1)または右(3)ボタン:前または次の単語に移動します。
- 本閲覧中に、上(1)または下(4)ボタン:前または次のページに移動します。
- 本閲覧中に右ダイヤル:前または次の行に移動します。
- 中央ボタン(5)を押しながら左ボタン(1):前の文字に移動します。
- 中央ボタン(5)を押しながら右ボタン(3):次の文字に移動します。

## 9. ロービジョンモードとブラインドモード

オムニリーダーは文書ビューの操作について、ロービジョンモードとブライン ドモードを搭載しています。ロービジョンモードでは、本体ディスプレイに画像 や文書を表示するための機能を使用できます。

例

- ・コントラストボタン ? を押すとカラーモードを変更します。
- ・左ダイヤルを回すと拡大率を変更します。

ブラインドモードでは、文書を読み上げるための機能を使用できます。 例

・コントラストボタン 📀 を押すと読み上げ音声を変更します。

・左ダイヤルを回すと読み上げ速度を変更します。

以下、ロージビョンモードとブラインドモードを切り替える手順です。

- メインメニューで右ダイヤルを使用して「設定」に移動し、再生ボタン
   ▶Ⅲを押して実行してください。「設定」メニューが開きます。
- 2. **右ダイヤル**を使用して「システム設定」まで移動し、再生ボタン を押してください。リストの最初の項目は「ユーザープロファイル」で す。
- 3. **右ダイヤル**を使用して「ロービジョンモード」または「ブラインドモード」に移動して、**再生ボタン**▶Ⅲを押して決定してください。
- 4. メニューボタン ででを押すとメインメニューに戻ります。

## 10. カレンダー

「カレンダー」では、ボイスメッセージを使用してリマインダーを作成できます。 1回のみのリマインダーを作成して、今日または先の日付に設定できます。また、毎日繰り返すリマインダーを作成することもできます。

リマインダーが鳴ったら、再生ボタン♪↓↓ くか、メニューボタン↓↓ ーに戻ることができます。リマインダーをオフにしてメインメニュ インダーが再生されます。

#### カレンダーを開く

カレンダーを開く手順は以下の通りです。

- 1. メインメニューで、**右ダイヤル**を使用して「カレンダー」に移動してくだ さい。
- 次に再生ボタン
   2.次に再生ボタン
   ▶Ⅱ
   を押してください。

カレンダーが開き、現在の日付が表示されます。1回限り、または毎日のリマ インダーを追加したり、保存済みのリマインダーを表示したり、登録済みのリマ インダーを削除したりできます。

## カレンダーにリマインダーを登録する

リマインダーを登録する手順は、以下の通りです。

- カレンダーを開いた状態で、右ダイヤルを使用して「リマインダーを追加」に移動し、再生ボタン▶Ⅲを押してください。選択肢は、「1回のみ」と「毎日」です。
- 2. 「1回のみ」または「毎日」を選んで、**再生ボタン**▶Ⅲを押してください。 現在の日付が画面に表示されます。

「1回のみ」のリマインダーを作成している場合、現在の時間が画面に表示されます。

毎日のリマインダーを作成している場合、毎日のリマインダーが停止す る終了日を設定するように求められます。

終了日の月と日を設定し、再生を押して決定してください。現在の時 刻が表示されます。

- 4. **左ダイヤル**を使用して、時を変更します。**右ダイヤル**を使用して分を変更し、**再生ボタン**を押してリマインダーの時刻を設定してください。
- 5. 「**再生ボタン**を押して録音」と表示するので、**再生ボタン**を押してください。ビープ音の後に録音が開始します。最大で約15秒間録音できます。
- 6. 録音が終了したら、再生ボタン♪ ■を押してメッセージを保存してくだ さい。オムニリーダーが録音したメッセージを再生します。メッセージは 後から確認することも可能です。

※最大録音時間まで録音した場合、その場ではメッセージが再生されません。 メニューから確認してください。

7. メニューボタン ででを押すとメインメニューに戻ります。

#### リマインダーの編集と削除

カレンダーのリマインダーを確認、変更、または削除する手順は以下の通りです。

- 「カレンダー」のメニューを開いた状態で、右ダイヤルを使用して、「1回のみのリマインダーを確認」、「毎日のリマインダーを確認」、または「すべてのリマインダーを確認」を選択し、再生ボタンといき使用してください。それぞれのリマインダーリストを表示します。
- 2. 右ダイヤルを使用し、確認、変更または削除したいリマインダーを選択し、再生ボタン▶
   ▶
   ▶
   ●
   ■を押してください。
- 右ダイヤルを使用して、「リマインダーを聴く」、「リマインダーを削除」、
   「リマインダーを変更」を選択して再生ボタン▶Ⅲを押して実行してく ださい。
- 4. リマインダーの変更、確認、または削除が終了したら、メニューボタン を押してください。メインメニューに戻ります。

#### 11.フォトアルバム

フォトアルバムを使用すると、USBメモリからオムニリーダーのアルバムに写 真やその他のJPGまたはPNG形式の画像を読み込むことができます。アルバ ムと個々の画像それぞれに音声でメモを付けることもできます。

USBメモリを使用して写真を読み込む際は、以下の点にご注意ください。

・USBハブは使用せず、個別のUSBメモリを使用してください。

・画像はフォルダではなく、USBメモリのルートに保存してください。

注意:この機能はロービジョンモードでのみ使用できます。

## フォトアルバムを作成する

オムニリーダーにコピーされた写真は、フォトアルバムに保存されます。フォト アルバムを作成は以下の手順で行います。

- メインメニューから、右ダイヤルを使用して「フォトアルバム」に移動し、
   再生ボタン
   ▶Ⅲを押して実行してください。
- 2. **右ダイヤル**を使用して「アルバムに写真を追加」を選択し、**再生ボタン** ▶Ⅲを押して実行してください。
- 3. **右ダイヤル**を使用して「新しいアルバムの作成」を選択し、**再生ボタン** ▶Ⅲを押して実行してください。
- 4.「再生ボタンを押して録音」と表示しますので再生ボタン♪↓↓を押して ください。録音が開始されますので音声でフォトアルバムの名前を付け てください。録音中に再生ボタン♪↓↓を押すと音声を保存します。フォ トアルバムの名前は最大で約15秒間録音できます。録音が完了する録 音したアルバム名の音声を再生します。再生ボタン♪↓↓を押してアル バムリストへ戻ってください。

 新しいアルバムがアルバムリストに表示されます(例:アルバム1)。右ダ イヤルでリストをスクロールすると、録音した音声のアルバム名を再生 します。作成されたばかりのアルバムは写真が保存されていない状態 です。

参考:アルバム名は音声のみ自由に登録することができます。文字で表示 されるアルバム名は自動的に作成され編集はできません。

#### 写真をアルバムに追加する

以下の手順でUSBメモリからオムニリーダーに写真を追加します。

- メインメニューから、右ダイヤルを使用して「フォトアルバム」に移動し、
   再生ボタン
   ▶Ⅲを押して実行してください。
- 2. **右ダイヤル**を使用して「アルバムに写真を追加」まで移動し、**再生ボタン** ▶Ⅲを押して実行してください。
- 3. **右ダイヤル**を使用してアルバムリストから写真を追加したいアルバムを 選択し、再生ボタン▶Ⅲを押して実行してください。
- 画面に「写真が保存されているUSBメモリを挿入してください」と表示 されたら、USBメモリをオムニリーダーのUSBポートの1つに挿入し、再 生ボタン を押してください。アルバムリストが表示されますので、 再度再生ボタン を押してください。「写真をコピーしています・・・ USBメモリを外さないでください。」と画面に表示します。「写真をコピーしました。」と表示され、写真データのコピー完了です。USBメモリを 取り外してください。

## 写真を見る

以下の手順でアルバムの写真を画面に表示します。

メインメニューから、右ダイヤルを使用して「フォトアルバム」に移動し、
 再生ボタン
 ▶Ⅲ
 を押して実行してください。

- 2. **右ダイヤル**を使用して「アルバムの表示」を選択し、**再生ボタン**
- 3. アルバムリストが表示されるので、右ダイヤルを使用して開きたいアル バムを選択し、再生ボタン▶■を押して実行してください。

アルバムを開いた状態で可能な操作は以下の通りです。

- ・左ダイヤル:画像を拡大します
- ・左ボタンと右ボタン:拡大した画像を左右にスクロールします
- ・上ボタンと下ボタン:拡大した画像を上下にスクロールします
- ・右ダイヤル:次の画像に移動します

・再生ボタン▶Ⅲ:メニューを表示します。メニューからは「音声メモの録音」 と「写真を削除」を行えます。

#### 音声メモの録音

表示中の画像に音声メモを付ける事ができます。「音声タグの録音」で再生ボ タンを押すと「再生ボタンを押して録音」と表示します。再生ボタンと加を押 すと録音を開始します。音声メモは最大で約15秒間録音できます。録音が完 了したら再生ボタンと加を押して終了してください。音声メモを付けた画像 は、画像を表示した際に音声メモを再生します。

### 写真を削除

表示中の画像をオムニリーダーから削除することができます。「写真を削除」 で**再生ボタン**を押すと「本当にこの写真を削除しますか?」と表示します。削 除する場合は**再生ボタン** で を、キャンセルする場合はコントラストボタン を を押してください。

## アルバムを削除する

以下の手順でアルバムを削除します。

- メインメニューから、右ダイヤルを使用して「フォトアルバム」に移動し、
   再生ボタン▶Ⅲを押して実行してください。
- 2. **右ダイヤル**を使用して「アルバムを削除」を選択し、**再生ボタン**ト 押して実行してください。
- 3. アルバムリストが表示されるので、右ダイヤルを使用して削除したいア ルバムを選択し、再生ボタン▶Ⅲを押して実行してください。
- Fルバムを削除しますか?」と表示されます。削除する場合は再生ボタン
   ン▶Ⅲ、キャンセルする場合はコントラストボタン
   を押してください。

#### アルバムの名前(音声)を変更する

以下の手順でアルバムの名前(音声)を変更します。

- メインメニューから、右ダイヤルを使用して「フォトアルバム」に移動し、
   再生ボタン
   ▶Ⅲを押して実行してください。
- 2. **右ダイヤル**を使用して「アルバムの名前を変更」を選択し、**再生ボタン** ▶Ⅲを押して実行してください。
- 3. アルバムリストが表示されるので、右ダイヤルを使用して名前を変更したいアルバムを選択し、再生ボタン▶Ⅲを押して実行してください。
- 「再生ボタンを押して録音」と表示します。再生ボタン▶Ⅲを押すと録 音を開始します。最大で約15秒間録音できます。録音が完了したら再生 ボタン▶Ⅲを押して終了してください。アルバムリストで指定のアルバ ムを選択した際に音声で名前を読み上げます。

12.時計

「時計」は時刻を表示し、アラームを設定または解除できます。時間を確認する 方法は以下の通りです。

・メインメニューで右ダイヤルを使用して「時計」を選択し、再生ボタンを押して ください。現在時刻が画面に表示されます。

## アラームの設定

1.画面に時刻が表示されている状態で**再生ボタン**>II

2.「アラーム時刻設定」が選択されるので、再生ボタントIIIを押して実行して ください。

3.**左ダイヤル**を使用して時を設定し、右ダイヤルを使用して分を設定します。 設定が終了したら再生ボタン

4.次に「1回のみ」か「毎日」か「オフ」のリストが表示されます。設定したいアラ ーム種類を**右ダイヤル**で選択し**再生ボタン**▶Ⅲを押してください。

現在時刻が画面に表示され、右下隅にアラームが設定されている事を示す小 さな丸が表示されます。

5.メニューボタンででを押すと、時計を終了してメインメニューに戻ります。

#### アラームの解除

- 1. 時計を実行し画面に時間が表示されている状態で、**再生ボタン**▶Ⅲを 押します。
- 2. **右ダイヤル**を使用して「アラームモード設定」を選択し、再生ボタン を押してください。
- 3. 次に「1回のみ」か「毎日」か「オフ」のリストが表示されます。**右ダイヤル** を使用して「オフ」まで移動し、**再生ボタン**▶Ⅲを押してください。アラ ームはキャンセルされ、オムニリーダーは画面に時刻を表示します。
- 4. メニューボタン で を押すと時計を閉じて、メインメニューに戻ります。

#### 時刻と日付の設定

時計設定から、時刻、日付、時刻表示の設定ができます。

時刻設定を行う手順は以下の通りです。

- 1. 時計が表示された状態で**再生ボタン ▶** を押すと、時計メニューが 開き、アラーム時刻設定、アラームモード設定、時刻設定、日付設定、時 刻表示の項目が表示されます。
- 2. **右ダイヤル**を使用し、時刻設定に移動し、**再生ボタン**とШを押してくだ さい。
- 時刻が表示され、左ダイヤルを回すと時が、右ダイヤルを回すと分を変更できます。
- 4. 時刻を設定したら**再生ボタン**▶Ⅲを押します。すると設定した時刻で、 時計が画面に表示されます。

日付設定を行う手順は以下の通りです。

- 時計が表示された状態で、再生ボタン ▶Ⅱ を押し、日付設定を選択して再生ボタン ▶Ⅲ を再度押します。
- 2. 日付が表示され、**左ダイヤル**を回すと月・年(12か月ごと)が、**右ダイ ヤル**を回すと日付を変更できます。
- 3. 日付設定が完了したら再生ボタン▶Ⅲを押します。すると、時計表示 に戻ります。

時刻の12時間/24時間表示を切り替える手順は以下の通りです。

- 1.時計が表示された状態で、再生ボタン ▶ を押し、時計表示設定を選 択して再生ボタン ▶ を再度押します。
- 2. 12時間または24時間を選択し、再生ボタン とこを押してください。時 刻表示が選択した表示方法に切り替わります。

13. 設定

設定ではオムニリーダーの設定変更や情報の確認を行うことができます。

#### 一般設定

一般設定では音声読み上げやオムニリーダーのボタンやダイヤルについての 設定を変更することができます。

設定メニューではメインメニューと同様に**右ダイヤル**を使用して項目を選択し 再生ボタンで実行します。

#### 読み上げ速度

読み上げ速度の変更を行うと、文書とメニュー項目両方の読み上げ速度が変 更されます。読み上げ速度を変更する手順は以下の通りです。

- メインメニューから右ダイヤルを使用し、設定に移動し、再生ボタン
   ▶ を2回押して「一般設定」メニューを開いてください。
- 2. 再生ボタン ▶ を押し、「読み上げ速度」を実行してください。読み 上げ速度の値は、1-10まで設定でき、1が最も遅く10が最も早くなり ます。初期設定では、値は5に設定されています。
- 3. 読み上げ速度の値のリスト内から、お好みの速度を選択し、**再生ボタン** ▶ ▶ を押して速度を決定してください。

参考:ブラインドモードでは、**左ダイヤル**を操作しいつでも読み上げ速度の変更 が可能です。ロービジョンモードでも同様の設定に変更できます。**左ダイヤル** の詳細は、45ページをご参照ください。

#### 読み上げモード

オムニリーダーには音声モードとテキストモードの2種類の読み上げモードが あります。

● 音声モード:文書を読み取りした際と、開いた際に自動的にテキストを読

み上げます。初期設定では、オムニリーダーは音声モードに設定されています。

● テキストモード:文書を読み取りした際と、開いた際にテキストの読み上げ を行いません。

読み上げモードを変更する手順は以下の通りです。

- 1. メインメニューから、右ダイヤルを使用して「設定」に移動し、再生ボタン を2回押して「一般設定」メニューを開きます。
- 2. 読み上げモードに移動し、再生ボタンとIIを押します。
- 3. **右ダイヤル**を使用して音声モード、または、テキストモードに移動してくだ さい、**再生ボタン** で か で か で お た して ま た は 、 テ キ ストモードに移動してくだ

メニュー音声

メニュー音声は、メニューの移動時や、ボタン操作時に流れるオムニリーダー の音声です。英語の選択も可能ですが、メニューの言語も英語になります。 メニュー音声を変更する手順は以下の通りです。

- メインメニューから、右ダイヤルを使用して「設定」に移動し、再生ボタン
   ▶Ⅲを2回押して「一般設定」メニューを開いてください。
- 2. 「メニュー音声」に移動し、再生ボタンと加を押します。
- 3. 使用可能な音声のリストが表示されます。右ダイヤルで使用したい音声 を選択して再生ボタンを ▶ 押して決定してください。

アメリカ英語:Ava、イギリス英語:Daniel、日本語:Kyoko、日本語:Otoyaから 選択可能です。

#### 読み上げ音声

読み上げ音声は、文書または本を読み上げる際の音声です。

ロービジョンモードで読み上げ音声を変更する手順は以下の通りです。

- メインメニューから右ダイヤルを使用して「設定」に移動し、再生ボタン
   ▶ を2回押して一般設定を開いてください。
- 2. 読み上げ音声に移動し、再生ボタン トロを押してください。
- 3. 「言語・音声」を再生ボタン <br />
  まま、変更が反映され、選択した音声が有効になります。

アメリカ英語:Ava、イギリス英語:Daniel、日本語:Kyoko、日本語:Otoyaから 選択可能です。

参考:ブラインドモードでは、コントラストボタン 🔗 を1回押すごとに選択可能 な音声が切り替わります。

**左ダイヤル機能設定** ※ロービジョンモードのみ

ロービジョンモードにおいて**左ダイヤル**は文書ビュー・カメラビュー時に拡大 率の変更に使用します。

左ダイヤル機能設定では、ロービジョンモードの状態で**左ダイヤル**の機能を拡 大率の変更機能からブラインドモードと同じように読み上げ速度の変更機能 に変更できます。

ロービジョンモードでの**左ダイヤル**のモードを変更する手順は以下の通りです。

- メインメニューから、右ダイヤルを使用して「設定」に移動し、再生ボタン
   ▶ を2回押して「一般設定」メニューを開いてください。
- 2. 左ダイヤルモード に移動し、再生ボタン と を押してください。
- 3. **右ダイヤル**を使用し、「読み上げ速度」、または「フォント拡大」のいずれか を選択し、**再生ボタン ▶**□□を押して決定ください。
- 4. 設定が完了すると一般設定メニューに戻ります。

#### 中央ボタン機能設定

ロービジョンモードでは、文書ビュー使用時に十字キー**中央ボタン**を押すと、 バッテリーステータスを読み上げます。ブラインドモードでは再生/一時停止機 能です。

中央ボタン機能設定ではこれらの設定を変更することができます。

手順は以下の通りです。

- 1. メインメニューから、右ダイヤルを使用して「設定」に移動し、再生ボタン を 2回押して「一般設定」メニューを開きます。
- 2. 「中央ボタン機能設定」に移動し、再生ボタン とこを押します。
- 3. **右ダイヤル**を使用し、ステータス、または、再生/一時停止のいずれかを選 択し、**再生ボタン ▶**■を押してください。
- 4. 設定が完了すると一般設定メニューに戻ります。

フォント

画面に表示されるフォントを変更する手順は以下の通りです。

- メインメニューから、右ダイヤルを使用して「設定」に移動し、再生ボタン
   ▶Ⅲを2回押して「一般設定」メニューを開いてください。
- 2. フォントに移動し、再生ボタン とこを押してください。
- 3. フォントのリストが表示されます。使用したいフォントを選択し再生ボタ ンと加を押してください。変更がすぐに反映され、一般設定メニューに 戻ります。
- 4. 設定完了後、メニューボタン 00 を押すとメインメニューに戻ります。

フォントサイズの変更

画面に表示されるフォントとフォントサイズを変更する手順は以下の通りで す。

- メインメニューから、右ダイヤルを使用して「設定」に移動し、再生ボタン
   ▶Ⅲを2回押して「一般設定」メニューを開いてください。
- フォントサイズに移動し、再生ボタン とこを押してください。フォントサイズのリストが表示されます。

設定できるフォントサイズは36・48・56・72・96・127の6種類です。

- 3. 使用したいサイズを選択し再生ボタン と を押してください。変更がす ぐに反映され、一般設定メニューに戻ります。
- 4. 設定完了後、メニューボタン **〇〇** を押すとメインメニューに戻ります。

コントラスト

コントラスト設定を行うことで合計13種類のカラーモードを設定することがで きます。設定したカラーモードは、文書ビューまたはカメラビューでコントラス トボタン ② を押すことで使用できるようになります。

※コントラストボタンのカラーモード切り替えはロービジョンモードでのみ使 用できます。

設定でカラーモードを削除するとコントラストボタン ② を押しても使用で きなくなります。設定可能なカラーモードの種類は48ページの「カラーモード」 をご参照ください。

カラーモードを追加・削除する手順は以下の通りです。

- メインメニューから、右ダイヤルを使用して「設定」に移動し、再生ボタン
   ▶
   ▶
   ▶
   ▶
   ▶
   ■
   ▶
   ■
   ▶
   ■
   ▶
   ■
   ▶
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■<
- コントラストに移動し、再生ボタン とこを押してください。すると、カラー モードのリストが画面に表示されます。
  - ※ カメラビュー時には、フルカラーモードがありますが、このカラーモード は削除できないため、リストには含まれていません。

- 右ダイヤルを使用してリスト内を移動します。カラーモード名前の前には、
   □が表示され、有効になっているカラーモードには、□にチェックマーク
   が入っています。
- 各カラーモードで再生ボタン
   を押すと、□のチェックマーク ✓ を入れる、または、外すことができます。追加するカラーモードにはチェックを入れ、削除するカラーモードはチェックを外してください。
- 5. 文書ビュー、または、カメラビュー時にコントラストボタン ② を押し、追 加・削除したカラーモードが選択可能・不能になっていることを確認してく ださい。

#### カラーモード

初期設定のカラーモード

- 1. フルカラー(カメラビュー専用カラーモード。文書ビューでは使用不可)
- 2. 白背景/黒文字(削除不可)
- 3. 黒背景/白文字(削除不可)
- 4. 青背景/黄文字
- 5. 黒背景/黄文字

追加可能なカラーモード

- ·黒背景/緑文字 ·緑背景/黒文字
- ·黄背景/黒文字 ·黄背景/青文字
- ·青背景/白文字 · 白背景/青文字
- ·黒背景/青文字 ·青背景/黒文字

#### 略字点字

点字ディスプレイを接続した際に略字点字を使用するかどうかのオンとオフ を切り替えます。

注意:点字ディスプレイへの出力は日本語に対応していません。

点字のワードラップ

点字ディスプレイを接続した際の点字表示を自動的に折り返すかどうかのオ

注意:点字ディスプレイへの出力は日本語に対応していません。

ンとオフを切り替えます。長い文章を1行に表示したい場合はオフに設定して ください。

#### UEB有効化

点字ディスプレイを接続した際にUEB点字を使用するかどうかのオンとオフ を切り替えます。

注意:点字ディスプレイへの出力は日本語に対応していません。

#### スタンバイまでの時間

オムニリーダーを操作しない状態が一定時間続くと自動的にスタンバイモード になります。ここではスタンバイモードになるまでの時間を設定する事ができ ます。

設定できる時間は5分・10分・15分・20分・30分・1時間・スタンバイ無効です。

スタンバイ無効に設定するとオムニリーダーはスタンバイモードに移行しません。

#### 明るさ

ロービジョンモードでのみ設定可能です。画面の明るさを1から17の値に設 定する事ができます。数値が大きいほど画面が明るくなります。

#### ステータス

オムニリーダーの各種状態を確認する事ができます。

確認できる情報は以下の通りです。

バッテリー:バッテリー残量

Application: プログラムのバージョン

プラットフォーム:日本語版では使用しません。空欄です。

#### システム設定

メインメニューから右ダイヤルを使用して、設定を選択し、再生ボタン ▶Ⅲ を1回押して下さい。再度右ダイヤルを使用して「システム設定」を選択し再生 ボタン▶Ⅲを1回押すとシステム設定が開きます。

#### ユーザープロファイル

ロービジョンモードとブラインドモードを切り替える事ができます。詳細は「1 0.ロービジョンモードとブラインドモード」をご参照ください。

ソフトウェアのアップグレード

本体プログラムの更新が合った場合、アップデートを行います。開発元から提供された更新プログラムを保存したUSBメモリが必要です。

スリープ

右ダイヤルで「スリープ」を選択して再生ボタン♪↓↓を押すと、オムニリーダー はスリープ状態になります。電源ボタン ●を軽く押した場合と同じ状態で す。再度起動する際は電源ボタン ●を軽く1回押してください。

シャットダウン

右ダイヤルで「シャットダウン」を選択して再生ボタン♪↓↓ ーダーは完全に電源をオフにします。電源ボタン ● を長押した場合と同じ 状態です。再度起動する際は電源ボタン ● を長押してください。

#### 14.オーディオブック

## オーディオブックを使う前の準備

オーディオブックを使用すると、USBメモリのフォルダに保存されているMP3 形式のオーディオデータを再生し聴くことができます。オーディオデータはオ ムニリーダーには保存できません。USBメモリに保存されたデータを再生しま す。そのため、オーディオブックのデータはコンピューターを使用してUSBメモ リに保存する必要があります。

・オーディオブックを構成するMP3ファイルのグループ毎に、USBメモリ内に 個別のフォルダを作成してください。

・フォルダ名が、オーディオブックリストの画面に表示されます。

#### MP3オーディオブックの再生

以下の手順でオーディオブックを再生し、聴く事ができます。

- メインメニューから、右ダイヤルを使用して「オーディオブック」を選択し、再生ボタン
   ▶Ⅲを押して実行してください。
- 2.「USBメモリを挿入してください」と表示されたら、オーディオブックを 保存したUSBメモリをオムニリーダーに挿入し、再生ボタン▶Ⅲを押し て実行してください。
- USBメモリ内のオーディオブックが保存されたフォルダリストが画面に 表示されます。
- 4. 右ダイヤルを使用して再生したいオーディオブックのフォルダに移動
   し、再生ボタン▶
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
- 5. フォルダ内の最初のMP3ファイルの再生を開始します。

<再生中の操作>

- ・再生ボタン▶Ⅲ:再生を一時停止します。もう一度押すと続行します。
- ・上ボタン/下ボタン:タイトルと経過時間を表示します
- ・左ボタン/右ボタン:オーディオブックフォルダ内の前または次のMP3ファ

再生を終了する場合、メニューボタン を押すと「この文書を閉じる」と表示します、再生ボタン を押すことでオーディオブックを閉じてオーディオブックフォルダのリストに戻ります。キャンセルする場合はコントラストボタン を押してください。

参考:オーディオブックを閉じた際に読んでいた箇所へは自動的にブックマー クが追加されます。再度同じオーディオブックを開くと前回と同じ箇所から再 生します。

15. 文字入力

オムニリーダーで文字入力が必要な場面では文字リストを使用して入力しま す。

注意:文字入力はアルファベットのみ対応です。

#### 文字リスト

右ダイヤルと十字ボタンを使用して、文字を選択および入力します。文字は6 つのリストから選択します。

- •小文字(a b c)
- 大文字(ABC)
- ·数字(123)
- •記号(#および%)

・電子メールショートカット(.com、.org、@ gmail.com、@ yahoo.comなど)

・すべて(1つのリストにすべての文字、電子メールショートカット、記号、数字、 大文字)

#### リストの操作と文字の選択

ある文字リストから次の文字リストに移動するには(たとえば、記号リストから 数字リストに)、**上ボタン**を押します。

文字リストを上下に移動するには、右ダイヤルを使用します。

文字を選択するには、再生ボタンを押します。

文字の間にスペースを挿入するには、小文字、すべて、または大文字の文字リ ストの一番上まで移動し、スペースを選択します。

文字をバックスペースするには、**左ボタン**を押します。これは、キーボードの BackSpaceキーを押すのと同じです。

文字の入力が終了したら、右ボタンを押して入力を完了します。これは、キー ボードのEnterキーを押すのと同じです。

16. 点字ディスプレイとの接続

オムニリーダーは、Freedom Scientific 社製の点字ディスプレイFocusシリー ズと互換性があり、USBケーブルを使用してオムニリーダーに接続できます。

点字ディスプレイを使用する場合は、次の点に注意してください。

#### 出力できる点字は英語のみです。日本語には対応していません。

オムニリーダーは、2級点字(グレード2)とUEBをサポートしています。初期設定では1級(グレード1)になっています。点字設定については後述します。

オムニリーダーがオンでもオフでも点字ディスプレイとの接続は可能ですがオ ンのときに接続すると、点字ディスプレイが認識されるまで最大で30秒程時 間が掛かる場合があります。

初期設定では、オムニリーダーは文書または本をスキャンした後にテキストの 読み上げと同時にテキストを点字ディスプレイに出力します。これは音声モー ドと呼ばれる状態です。スキャン後に読み上げたくない場合は、「設定」メニュ ーの「読み上げモード」を変更してください。詳細については、43ページを参 照してください。

音声モードがテキストを読み上げている状態で、点字ディスプレイのナビゲー ションロッカーを使用してテキストをスクロールしたり、パンボタンを押してテ キストを読んだりすると、オムニリーダーはテキストの読み上げを停止します。

#### 点字設定の変更

オムニリーダーは、2級点字(グレード2)と1級点字(グレード1)の点字、ワードラップ、CEB、UEBをサポートしています。

点字設定を変更するには、次の操作を行います。

1.メインメニューから、右ダイヤルを使用して「設定」に移動してください。続い て再生ボタン▶Ⅲを2回押して「一般設定」メニューを開きます。 このメニューでは、次の点字設定を使用できます。

・略字点字:初期設定ではオフ(1級点字)になっています。2級点字を使用する場合はオンにしてください。

・点字のワードラップ:初期設定ではオンになっています。点字ディスプレイの 行内に収まらなかった単語を次の行に表示します。オフにすると単語の途中 でも改行して表示します。

・UEBの有効化:UEBを有効にします。オフにすると、CEBが使用されます。

2.**右ダイヤル**を使用して、上記の点字設定のいずれかに移動し、**再生ボタン** 

3.もう一度右ダイヤルを使用して「オン」または「オフ」をハイライトし、再生ボタ ン▶Ⅲを押して選択します。

4.手順2と3を繰り返して、それぞれの点字設定を変更してください。

## 17.本体左側面の接続ポート等について

オムニリーダーを正面に置いた状態で、向かって左側の側面に、イヤホンジャック、USBポート、電源ボタン、電源アダプタ挿入口があります。

これらは以下図のように縦に配置されています。



(1)	電源アダプタ挿入口	ー番下にある挿入口です。電源アダプタを接 続します。
(2)	電源ボタン(緑)	下から2番目に配置されているボタンです。 電源オフの状態で約5秒間長押しすると電源
		ホオンになります。 電源がオンの状態で軽く <b>電源ボタン</b> を押すと スリープモードになります。スリープモード中 にもう一度 <b>電源ボタン</b> を押すとスリープモー ドを解除します。
		電源オンの状態で約10秒間長押しすると電源 をオフにします。

(3)	USBポート	<b>電源ボタン</b> の上にUSBポートが2つ搭載され ています。USBメモリを接続する事でデータ をオムニリーダーにコピーしたり、読み込ませ たりする事ができます。
		また、USBケーブルでFreedom Scientific社 製点字ディスプレイに接続することで点字出 力も可能です。(日本語非対応)
		USBを取り外す際は本体をスリープ状態にし てから取り外してください。
(4)	イヤホンジャック	USBポートの上に3.5mmのイヤホンジャック が搭載されています。外部スピーカーやイヤ ホンを接続することができます。

18.トラブルシューティング

問題	解決策
画面が真っ暗になってしまった。	・電源が入っていることを再度ご確 認ください。
	・メニューボタンを押してメニューに 戻るかお試しください。 ※ビューモードや読み取りモードでは色設 定や拡大状態、撮影した対象の状態によっ て真っ暗に映る場合があります。
本体の電源が入らない。	・バッテリーの充電残量が少ないと 起動しません。アダプタを接続した 状態でお待ちいただいてから再度 お試しください。 ※充電状況によっては30分程充電に時間 がかかる場合があります。
勝手に電源がオフになる	スリープモードの設定によって、無 操作の状態が続くと自動的にスリー プモードになります。設定の「スタン バイまでの時間」にて設定を変更で きます。
取扱説明書に記載されている項目 がメニューに表示されない。	・本機にはロービジョンモードとブラ インドモードがあります。選択したモ ードによっては表示されないメニュ ーや機能の変わるボタンなどがあり
取扱説明書に記載されている機能 と動作が異なるボタンやダイヤルが ある。	ます。
USBを認識しない	・本体の再起動をお試しください。 ※USBメモリによっては認識しないもの があります。

OCRで読み取った文書を数字やア ルファベットしか読み上げなくなっ た	・ブラインドモードで文書読み取り中 にコントラストボタンを押すと音声 が切り替わります。音声が英語に設 定されると日本語の文書を読めなく なります。コントラストボタンを2回 押して、日本語に切り替わるかお試 しください。
音声が早すぎる・遅すぎる	・音声設定を調整してください。ブラ インドモードでは左ダイヤルを回す 事で簡単に音声速度を変更すること ができます。
	左ダイヤルを奥に向かって回すと読 み上げ速度は速くなり、手前に向か って回すと遅くなります。
音声が聞こえない	・読み上げモードがテキストモードの 状態では文書を読み取っても読み 上げません。 ※この場合メニューで音声が出ます。
	・ボリュームが小さすぎる場合、ボリ ュームダイヤルで調整してください。 時計回りに回すとボリュームアップ、 反時計回りに回すとボリュームダウ ンです。

## 19.サービスとサポート

オムニリーダーのご使用にあたって、ご不明な点や問題点がございましたら 株式会社インサイトのサポート窓口または、ご購入いただいた販売店様へご連 絡ください。

**注意:**本機には、使用者様の手によって修理できる部品はありません。機器のいかなる部分であっても、勝手に分解、改造すると製品保証が無効になります。

株式会社インサイトへ直接お電話にてご連絡される場合には、

022-342-6801までご連絡ください。

修理受付について

https://www.s-insight.jp/repair.html

Contains Radio Transmitter:

FCC ID:

VC2-10025

IC: 8923A-

10025

USA – Federal Communications Commission (FCC) Notice

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio /TV technician for help.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Caution: Exposure to Radio Frequency Radiation. This device must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Canada - Industry Canada (IC) Notice

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

This device complies with RSS 210 of Industry Canada. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of this device.

Cet appareil est conforme à RSS 210 d'Industrie Canada. Le fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes: (1) cet appareil ne doit pas causer d'interférences, et (2) cet appareil doit accepter toute interférence, y compris les interférences pouvant entraîner un fonctionnement indésirable de cet appareil.

Caution: Exposure to Radio Frequency Radiation

The installer of this radio equipment must ensure that the antenna is located or pointed such that it does not emit RF field in excess of Health Canada limits for the general population; consult Safety Code 6, obtainable from Health Canada's website www.hc-sc.gc.ca.

Attention: Exposition à des radiations de fréquences radio.

Cet appareil émettant des ondes radio, l'installateur doit s'assurer que l'antenne est positionnée ou orientée de telle sorte que l'appareil émette des champs RF ne dépassant pas les limites recommandées par Santé Canada pour le grand public; consultez Code de sécurité 6, disponible à Santé Canada ou sur leur site web www.hc-sc.gc.ca.

Attention: This unit has been shipped with cables that allow compliance with FCC Regulations. If replacement cables are needed in the future, contact Freedom Scientific to obtain the appropriately shielded cable.

Japan – Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)



安全上のご注意

- オムニリーダーを長くご愛用いただくために、以下の点に注意してご使用ください。
- オムニリーダーをご使用の前に必ず取扱説明書をお読みください。
- オムニリーダーをご自分で修理、分解しないでください。お客様の手に よって修理可能な部品はこの製品には用いられておりません。(事故や 故障の原因となります)
- 本体を絶対に濡らさないでください。雨や液体が本体にかからないようにご注意ください。
- 本機のご使用は、摂氏10度から40度の場所でのみ可能です。本機の保管は、摂氏-20度から65度の場で行ってください。車内など、高温になる可能性のある場所に保管しないでください。
- オムニリーダーのご使用や保管は、机やテーブルなどの安定した、硬い 平面の上で行ってください。
- 画面のお手入れの際には、電源コードを抜いた後、以下に挙げる液体を 柔らかくきれいな布に少量付けて軽く拭いてください。

・水

- ・イソプロピルアルコール(エチルアルコールは使用しないでください)
- ・石油ベンゼン
- ・濃度10%以下の酢水(例:大さじ1.5の酢に1カップの水、1リットル当たり 100ml)

注意:液晶画面に過度の力を加えないでください。洗剤を直接画面に吹きかけないでください。また、アセトンエチルアルコール、エチレン酸、アンモニア、メチルクロロイドを含む洗剤のご使用はおやめください。

■ 本機の他の部分のお手入れは、電源ケーブルを抜き、水か薄めた洗剤 で少し湿らせた柔らかく清潔な布を使用してください。